

上越市ではいま一歩のところで届かず次点に 全国的には1.4倍の議席に伸ばし躍進

12日、投票された一斉地方選挙の前半戦。新潟県議会議員選挙の上越市区では、私、はしづめ法一は党史上最高の9594票を獲得したものの、議席には届かず、次点となりました。

今度の選挙で私は、県議選挙であつても、全国一斉の選挙であり、消費税増税、原発再稼働、社会保障制度の改悪、「海外で戦争する国」づくりなど安倍政権の暴走にきびしい審判を下そうと訴えました。とくに「海外で戦争する国」づくりに向けて連休明けの国会で立法措置をとろうとしていることを重視し、「戦争する国」づくり反対、平和を守れと訴えてきました。

また県政についても、「新潟県



14日の朝市宣伝の後、支持者からチュウリップをもらった私。

の民生費割合は全国最低。もつと県民のいのち、健康、福祉を大切にする県政にすべき」「新潟県は農業大県であり、食料基地だ。農業振興基本条例を制定し、県農業を守り発展させる仕組みづくりを」などと訴え続けました。

これらの訴えは、安倍政権への不安や怒りを強める多くの市民のなかで共感と支持を大きく広げました。

阿部本部長が県議選の結果について談話発表

県議選上越市区の結果について阿部正義選挙対策本部長は、「はしづめ候補の『戦争する国づくり』許すな、平和を守れ、原発再稼働を許すななどの訴えは共感を呼び、当選までもう一歩のところまでいった。必勝を期しての選挙だったので次点は残念な結果だが、前回は2845票だったことを考えれば大きな前進だ。今後は自力をつけて頑張りたい。ご支援いただいた皆さんには心からお礼を申し上げます」との談話を発表しました。

日本共産党、全国すべての都道府県で議席を確保

全国では、日本共産党は、41の道府県議選挙で、111議席を獲得し、前回当選者の80議席から大



【ヒュウガミズキ】マンサク科の落葉低木。漢字で「日向水木」と書きます。花は3月末に吉川区代石にて撮影したものです。小さな黄色い鐘が、枝に沢山ぶら下がっているように見えます。

幅に議席を伸ばしました。また、栃木、神奈川県、静岡、愛知、三重、滋賀、福岡の7県で、日本共産党の県議会議員が新しく誕生し、県議会議員のいない県はなくなりしました。非改選の都県も含めて、47都道府県のすべての議会に議席を確保したのは、党史上初めてのことです。

投票日の翌日も朝の挨拶

雨の日も雪の日も続けてきた木田の市役所入り口交差点での朝の挨拶、投票日の翌日も行いました。この日も2人の女性後援会員



さんが私と一緒に朝の挨拶をしてくださいました。三八市へ行くお父さんがクラクションを鳴らして激励してくれました。市役所の職員さんが大勢、手を振ったり、頭を下げたりして通り過ぎていきます。運送屋の大型トラックの運転手さん、幼稚園のバスの運転手さんなども合図を送りあうことができました。平日いつもバスの運転手のすぐ後ろに座って、何度も私の顔を見て会釈してくださったおかあさん、あなたの顔は忘れませんよ。ありがとうございました。

活動レポートの発行について

昭和60年6月から毎週発行してきました活動レポートは、今回の選挙の結果、記事内容、発行回数などの見直しを迫られています。

日本共産党市議団のメンバーのみなさんなどと協議して、どうするかを最終的に決めたいと思っています。

しばらくの間は、発行したり、しなかったりすることになると思いますが、お許しください。

橋爪法一

はしづめ法一の
活動レポート

No.1704 2015.4.19

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

高田の朝市へ行った帰り道、鴨島のHさん宅を訪ねました。数年前からインターネットで知り合いになった方です。Hさんとはなぜか趣味も関心事も共通なところが多く、とても親近感を持っています。

ほんとうは挨拶だけして、すぐに帰るつもりでしたが、「さあさ、ちよつと入って、入って」とすすめられ、コーヒーやお茶をご馳走になってきました。Hさん宅へ入らせてもらったのは今回で三回目か四回目だと思います。Hさんとの話はいつもはずんずん、つい長くおしゃやましてしまうのですが、この日も、やはりそうなっていました。

この日の二人の会話は携帯電話の話から始まりました。私は正月からスマートフォン（多機能携帯電話）を使っています。テーブルの上に電話を置かせてもらおうと、Hさんが「橋爪さんの電話、大きいですね」と訊いてくれました。「私ね、指が太いので、大きいのにしたんですよ」と答えると、「じつは私も太くてね。それで最初に使っていたのは女房のものにし、電話を替えたんです」と言われ、電話談義が続きました。

話が始まる前に別の話題へと変わろうとした頃です。庭の方を見ると、玄関先にお客さんらしい人の姿がちらつと見えました。「どなたか、お客さんのようですよ」と言うと、Hさんのお連れ合いがすぐに玄関へ行かれました。

別に耳をそばだてていたわけではないのですが、「ユキヤナギがきれいに咲いていたので、見せてもらおうと思つてね」など、お客さんとお連れ合いの会話が聞こえてきました。そして間もなく、「おとうさん、Oさん、橋爪さんと同級生なんだって」という声があったので、びっくりして、私も玄関へ飛び出して行きました。

なんとということでしょう、そこにいたのは私の高校時代の同級生、Oさんだったので、Oさんは現在、福祉関連会社のケアマネージャーをやっているとのことでした。

それからはHさんとOさん、それに私の三人でお茶会です。私が高校二年生のとき、同級生のSさんから自転車を借りて、碓氷峠経由で高崎まで行ったことを話すると、Hさんも大型トレーラーを道幅の狭い碓氷峠を通すために仕事は夜中にしたことなどの思い出を語ってくださいました。また、東京で小川未明や杉みき子さんの児童文学と出会ったことなども語ってください、楽しい時間を過ごさせてもらいました。

一緒にお茶を飲んだ三人に共通なのは三人とも花に強い関心を持っていることです。ユキヤナギやトキワイカリソウなどの話をした後、Hさんがふつと思いついたように、「ハナカイドウ（花海棠）を見ていきませんか」と誘ってくださいました。

Hさん宅の玄関脇にあるユキヤナギやツバキなどの花を見ながら裏庭へ行くと、ソメイヨシノの木が一本ありました。二十数年前、Hさんの、いまは亡きお母さんの希望で植えたという桜の木です。満開でした。その木と数メートルの距離にハナカイドウの木が二本ありました。

初めて見るハナカイドウの木。すでに小さな葉が出ていて、長い花柄（かへい）の先に赤いつぼみがついていました。とてもかわいい。花はまだ咲き始めたばかりで、淡紅色の花がふたつほど開いていました。りんごのような木に、サクラランボに似たつぼみ、どこかで出会ったことのある姿になぜか懐かしさを覚えました。

偶然だった三人の出会い。花を見て会話はまたはずみまわりました。ハナカイドウは花が咲いた後、リングに似た小さな実をつけることがあるそうです。そして、花言葉は「美人の眠り」。満開のとき、いったいどんな姿になるのでしょうか。

1年以上もお世話になった朝市のみなさんと握手

選挙が終わった翌日の13日、直江津の三八市に行ってきました。「選挙終わったらくるよ」と市のおばさんたちに約束していたので、出かけてきたのです。2日付けのレポート

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月8日(水)	4月15日(水)
上越南消防署	0.050	0.030
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.053	0.043
頸北消防署	0.040	0.053
頸南消防署	0.043	0.047
東頸消防署	0.043	0.047
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.060	0.050

も配布してきました。みなさんからは、「惜しかったね。がんばってくんないや」「応援してるよ」「このビラ、いつも楽しみにしているんだよ」などと激励してくださいました。いつもの市よりもたっぷり話ことができました。お店を出している人からは漬物などたくさんの美味しいものをいただきました。ありがとね。

14日は高田の朝市へ行きました。高田でしかお店を出していない人もかなりいます。お礼を言い、高田での市日宣伝を続ける平良木議員を紹介して歩きました。どこへ行っても、「惜しかったね。6つ入れたんだけどなあ」「捲土重来！がんばれ」「おまんのこれ(レポート)楽しみなんだ」などと声をかけてもらいました。靴下ももらってきました。市ではウド、ののば、コシアブラなど山菜がたくさん出るようになりましたね。

